

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 17日

事業所名 あゆっこ益田

	チェック項目	どちらとも			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
		はい	いいえ	いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員が個人プログラムを行うスペースとの関係で適切であるか	2	2		個人プログラムを実施する個室を設定している。		
	2 職員の配置数は適切であるか	1		3	定員に対する配置は基準を満たしている。	個人プログラム実施中に、保護者対応を充実させたいと考えているが、管理者が不在の時は対応ができない。担当者も積極的に対応するようにしている。	
	3 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		活動空間は個人プログラム専用として使用しているため、「何をするか」は分かりやすい環境である。玄関の段差は低く、またスロープを設けている。	内部の敷居などの段差は、スタッフが注意喚起などの支援を引き続き行っていく。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	2		全体で個別支援検討会を実施し、中間評価を行いながら発達に応じた支援を行っている。		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			4年前から実施し、業務改善につなげている。		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			4年前からホームページで公開している。		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	1	第三者による外部評価は実施していない 問い合わせには逐次適切な対応とご意見箱を設置している。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2		センター内の各種研修会にリモートにて参加している。	個別療育の研修に参加し、支援内容を充実させていきたい。研修後に職員に伝える時間を確保することや、できるだけ多くのスタッフに研修の機会が得られるようにしていきたい。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			アセスメントと相談支援事業所の計画書をもとに原案を作成し、支援計画を作成している。		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		定期的実施してる心理評価の情報も共有している。		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			日々の課題は担当者が立案。中間評価でスタッフ全員に支援経過や今後の方針を語り、修正や情報共有している		
	12 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	4			課題の達成状況をみながら、ステップアップを目指した課題を提示している。		

	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		朝のミーティングで全体の役割分担や留意事項等を確認している。	
	14	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		支援終了後やその都度、または検討会にて話し合いや振り返りを行い、共有している。	
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		毎回記録し、その記録を次回の立案に繋げている。	
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		定期的実施している中間評価に基づいて放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。	
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	1		個人プログラムの課題として実施可能な活動は取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			担当者、または児童発達支援管理責任者が参画している。	
	19	学校との情報共有(学校訪問など就学後のフォロー)を適切に行っているか	4			就学移行支援として「引き継ぎ」を実施している。その他、学校・保護者・相談支援事業所を交え、モニタリング会議や支援会議に参加したり必要に応じて学校訪問を行い情報共有をしている。	今後も就学後のフォロー等を行っていきたい。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4	現在、医療的ケアが必要な子どもはいない。	今後支援する際には、主治医との連絡体制は必要と考えている。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			ケースによっては、就学後も園と情報共有している。	
	22	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		ケースにより連携している。	
	23	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	4			自立支援協議会に参画して、子育てや市町主催の会議等に出席している。	
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			個人プログラムの実施内容と子どもの状況について毎回保護者へお伝えしている。	今後も共通理解ができるよう努めていきたい。
	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2		ペアトレは実施していないが、保護者からの相談に対して助言等を行っている。	
	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に、契約書、重要事項説明書等について丁寧に説明している	
保護者への説明責任等	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		保護者との面談は常日頃から実施し、必要に応じて助言や支援につなげている。	他の職員とも情報共有し、協力しながら相談に対応していきたい。
	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		センター内に苦情受付窓口を設置して体制を整備するとともに、第三者委員や県の相談窓口についても保護者へ周知している。	

	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	1	2	事業所独自の会報は発行していない。 センター全体の会報に参画し、発信している。	
	30	個人情報に十分注意しているか	4			他機関との連携等で必要な場合は、その都度、取り扱う目的や内容等について保護者の了解を得ている。	
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			子どもの理解力や特性、コミュニケーション能力に合わせ、伝え方等を工夫している。	保護者の方ともしっかり意思疎通が図れるよう努めたい。
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	事業所単独では実施していないが、センターの行事に参画している。	
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	3		センターが策定しているマニュアルに基づいて対応している。	
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	1	3		訓練を実施しているが、事業の性質上利用者の参加は難しい状況にある。	実施予定、実施報告を掲示する
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1		虐待防止委員会主催のグループワークに年2回リモートで参加している。	
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	3		センター全体で報告される事例については毎月確認をしている。	事業所内で報告された事例のみを集めた事例集を作成し、事業所内で共有するとともに、対策を講じる。